

第3分科会

資質・能力を育成するための 学校づくりと教育課程

～どのように学び、どのような資質・能力が身に付くか～

企画趣旨

今回の学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の考えの下、「資質・能力」の育成を目指すことが示されており、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められている。「深い学び」の実現には授業をデザインするカリキュラムマネジメントの充実が必要であるが、実践、研究している事例は少ない。

そこで、本分科会では、新設校である伊豆の国特別支援学校の開設に向けて教育課程の編成や学校づくりをどのように進めたのかを紹介する。そして、以下の2点に焦点を当て話題提供する。

①開校に向けて地域の特色を生かした学校教育目標の設定と学校教育目標の実現に向けた学校組織や教育課程の編成。②次年度に向けてカリキュラムマネジメント委員会による実践の成果の共有、シラバスの見直しの取り組み。

また、資質能力を育成する学校づくりと教育課程の編成に向けて、教科間や単元間、日常生活などをどのように繋いでいけば効果的なのか議論していく。

内容

タイムテーブル

10:20 ~ 10:25	企画趣旨説明
10:25 ~ 10:45	話題提供①「学校システムについて」(伊豆の国特別支援学校)
10:45 ~ 11:00	指定討論者から
11:00 ~ 11:20	話題提供②「具体的な運用について」(伊豆の国特別支援学校)
11:20 ~ 11:35	指定討論者から
11:35 ~ 11:50	質疑応答・意見交換

企画・司会者	勝又 賢一(本校教務部)・牧田ひと実(本校教務部)		
話題提供者	伊豆の国特別支援学校	教諭	笹原 雄介
指定討論	静岡大学教育学部	准教授	山元 薫